

HIROO 社協だより

発行：社会福祉法人 広尾町社会福祉協議会
TEL 2 - 4110 / FAX 2 - 4258
ホームページ：<https://www.shakyo.or.jp/hp/162/>
Facebook：<https://www.facebook.com/hiroosyakyou/>
メールアドレス：webadmin@hiroo-shakyo.jp

“育てよう
広げよう
福祉の心”



ふまねっとサロン
開催の様子

☆今回の注目記事☆

- | | |
|----------------------|--------|
| 1、CSW通信 | 2～3ページ |
| 2、お互いさま ひろお通信 | 4～7ページ |
| 3、高齢者勤労事業部からのお知らせ | 8ページ |
| 4、赤い羽根共同募金委員会からのお知らせ | 9ページ |
| 5、ボランティアセンター（寄付について） | 10ページ |



北海道社会福祉協議会
イメージキャラクター

社会福祉協議会では、地域の細かい福祉問題を取り上げ、保健、福祉関係機関、団体と連携をとり、町民相互の協力活動で解決しようとする民間団体です。在宅福祉サービスやボランティア活動の推進、高齢者、障害者、母子等全町民を対象に地域福祉活動を行っています。



社協だよりには共同募金の助成金の一部が使用されています。

CSW 通信

第2号 2021年4月

広尾町の皆さん、何か困りごとありませんか？

広尾町社会福祉協議会

コミュニティソーシャルワーカーの花川です！



町民の皆さんへ！

突然ですが、、、

『孤独死』という言葉を知ったことはありますか？

『孤独死』とは、一般的には「一人暮らしの者が誰にも看取られることなく、当人の住居内などで生活中的突発的な疾病などによって死亡すること」をさします。

現在、広尾町には一人暮らしの高齢者が500名以上います。そのうち、社会福祉協議会では、昨年より100名以上の方を対象に家庭訪問を実施しています。

家庭訪問をしているとご家族が遠方にいる方や近くにもなかなか会えない方、ご夫婦に子供がいない方が多くいると感じています。

私が訪問した方も子供がおらず、近所付き合いもなく、自宅で一人亡くなられていた方がいらっしゃいました。

また定期的にヘルパーを利用している方でも、自宅で亡くなられていたことがありました。



実は、この「孤独死」皆さんの身近で起きている事なんです！



「この間まで元気だったのに、どうして？」 「昨日電話で話したばかりなのに…」なんて思ったことがある方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

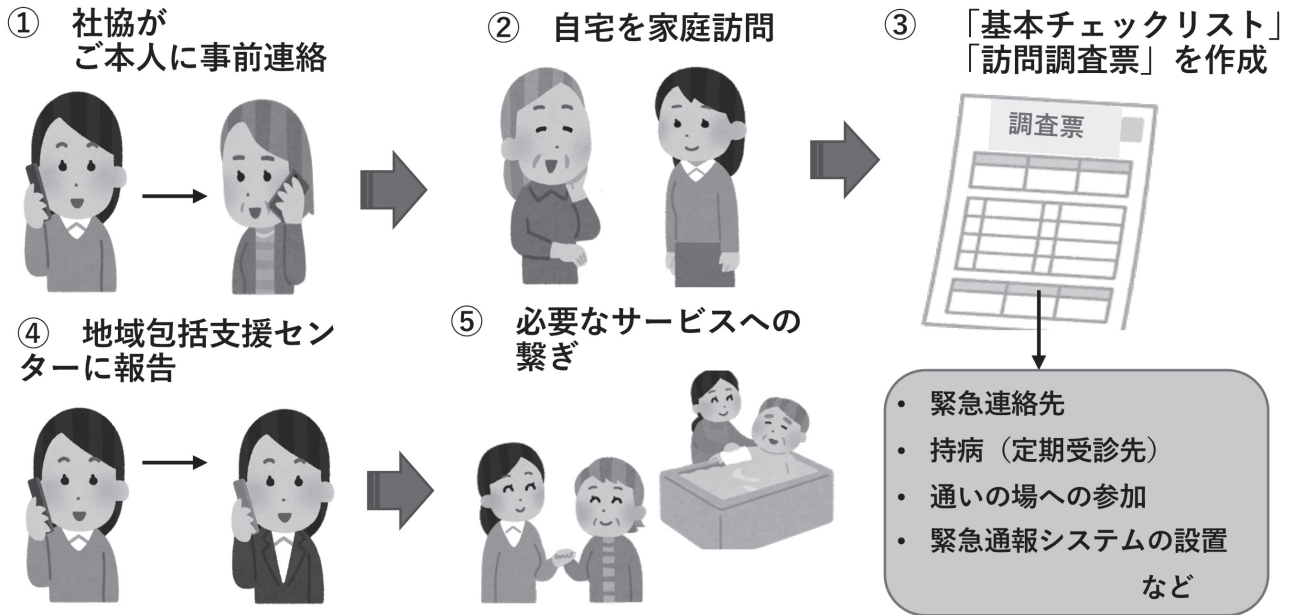
高齢者の皆さんは急に体調を崩す危険があります。体調の急変が脱水症状であったり、脳梗塞であったり等、亡くなる原因は人それぞれ違います。ですが、亡くなった後、誰にも発見されず時間が経過してしまうことは一番悲しい事ではないでしょうか？

「まだ自分には必要ないわ」と思われますか？そんな皆さんが「この間まで元気だったのに・・・」とならないよう、見守りや安否確認、他者とのつながりの重要性を再確認していただきたいと思いご紹介させて頂きました。

社会福祉協議会では、広尾町地域包括支援センターの委託を受け昨年8月から75歳以上の一人暮らしの方に家庭訪問を実施しております。

この家庭訪問は、介護保険法の地域の実態把握事業の一環として、一人暮らし世帯に訪問し、相談に応じたり適切な支援を行うことで皆さんが自立した生活を続けられることを目的としています。（※現在は新型コロナウイルスの感染拡大を受けて訪問を中止しておりますが、必要に応じて実施しています。）

< 訪問の流れ >



町内でひとり暮らしをしている皆さん、そしてご家族の方。「訪問サービス事業を一度利用してみたい」、「どんなことをしてくれるのか聞きたい」といった方がいましたら、いつでも社会福祉協議会の花川までご連絡をください。自宅に伺っての説明も可能です。

ご自身の健康状態や日々の生活の困りごとなどお気軽にご相談下さい！

■ お問い合わせ・ご相談窓口 ■

広尾町社会福祉協議会 CSW 花川 菜々
連絡先：電話 2-4110

ちよこっと
ぷち講座！

『社会福祉士・

精神保健福祉士』

ってなに？

広尾町社会福祉協議会では社会福祉士6名、そのうち精神保健福祉士を合わせて取得している者が3名在籍しています。なお、コミュニケーションワーカーや生活支援コーディネーター、介護支援専門員（ケアマネ）として実働しています。

社会福祉士、精神保健福祉士はともにソーシャルワーカーと呼ばれる職業であり国家資格です。

社会福祉士の支援対象者は高齢者や障害のある人、貧困家庭、児童、ホームレスなど広範囲にわたります。

それに対し、精神保健福祉士の支援対象者は統合失調症やうつ病、認知症、アスペルガー症候群など、精神になんらかの病気や障がいを持つ人やその家族への支援業務に特化しています。

高齢者や精神疾患を有する方のみではなく、何らかの理由で生活に困難を抱えている人は多くいらっしゃいます。どこに相談したら良いか分からない。こんな相談しても良いの？といった悩み事やお困りごとがありましたらまずご相談下さい。

生活支援体制整備事業

お互いさま ひろお通信

「地域づくりから育つひろおの支え合い」

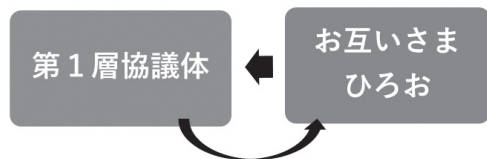
第16号 2020年12月



第1層協議体と“お互いさま ひろお” 連携の目的

“お互いさま ひろお”で出てきた意見やそれぞれの立場で感じていることをふまえて、地域に必要な社会資源(サービス等)を検討します

普段の生活、何気ないつながりで気づいていることや感じていること、自分たちでできそうなことを話し、広尾町にあった支え合いの形を考えます。



両者は相互に連携し協力する関係。広尾町の支え合いを広げ地域力を高めることを目指します!!

図1

11月10日 第1層協議体 お互いさま ひろお合同開催

今回は初めての試みとして、第1層協議体と「お互いさま ひろお」合同で開催しました。両者の役割や関係性は図1の通りになっています。今回は『宅配便利帳』と『広尾町に適した自然な見守り』2つのことについて話し合いました。宅配便利帳については、「役立つと思う」「免許を返納したら使ってみたい」という意見がでていました。



一方、「女性は特に自分の目で商品を見て買いたい」「健康のために歩いている人も多い印象がある」との意見も出ており、実際にお店に行き、少しでも歩くことで健康の為にもなるという観点から、宅配便利帳とは別の視点で買い物支援を検討することも課題として浮かび上がってきました。さらに、宅配便利帳の校正の部分についても意見をいただきました。より見やすい形になりました。

次に広尾町に適した自然な見守りについての意見を一部ご紹介します。

- 友人であれば気軽に電話を掛けたりできるが、そうでないと難しい。
- 「私は元気です」という目印に、他町村の事例では赤や黄色の旗を毎日玄関に出す方法を取っているとある。
- 見守りが必要な人が一目でわかるよう目印を身に着けてもらうのはどうか？一方、当事者は敏感に嫌悪感を抱くこともある。目印を持たせてもすぐに外してしまいう可能性があるのではないか？
- 町内会単位での見守りもいいが、もつと小規模の方が自然な見守りは育みやすいのではないか？
- 私は知人から買い物頼まれ届けることがあるが、逆に余裕分けもしてくれる。お互いが助けられている関係性だと支え合いの関係が作りやすいのではないか？

以上のように自然な見守りを育む方法はたくさんあるのではないかと思います。しかし、それを実現させるには多くの人の理解が必要で、見守りが必要な当事者が嫌悪感を抱くことなく、当たり前のように生活できる環境を整備する事が求められます。

今後みなさんの意見をヒントにしながら、誰にとっても住みやすい町づくりをすすめていきたいと思えます。今回の意見にも出ていましたが、みなさんがすでに実践している支え合い活動の中にも、今後の地域づくりのヒントが多く隠されています。ぜひ、私はこんな活動しているという声を届けてほしいです。



生活支援体制整備事業

お互いさま ひろお通信

「地域づくりから育つひろおの支え合い」

第17号 2021年2月

毎日の散歩が地域の見守りに!! わんわんパトロール

豊似地区でわんわんパトロール活動が始まっていると聞き、豊似駐在所の明先さん活動の中心となつている八重樫さんにお話を伺いました。

わんわんパトロールは「子どもが困ったときに誰に相談すればいいのか?」「子どもの安全を守るためには?」という保護者の声が明先さんのもとに届いたことで始まりました。

この活動は赤いハンカチが目印です。犬に赤いハンカチを付けて散歩しつつ見守り隊として役割を担っています。赤いハンカチは明先さんの奥様の手作りだそうです。

八重樫さんは学校の下校時間に合わせて愛犬のチョコちゃんと散歩を開始し、雪道でも軽快に歩いていきます。毎日40分近く歩いているから良い運動にもなるとのことでした。

子どもたちがチョコちゃんの姿を見ると元気に「チョココ〜」と叫びながら走ってきました。チョコちゃんも「ワン!ワン!」と嬉しそうに答えていました。余談ですがとても人懐っこい性格をしているのか、私がかメラを向けるとピタッと止まってくれます。撮影がしやすかったです。



八重樫さんは子ども達と一緒に歩きながら、英語教室の会場に向かいます。道中、交代でチョコちゃんの散歩のお手伝いをしていました。

八重樫さんは散歩の手伝いをしている子どもたちに目を向けながらも、後ろから歩いてきた子どもにも、「スキーウェア(下)穿いてこなかったの?手に持っていたら大変だから、きれいに畳んでカバンに入れてあげる」と声を掛け見守っている様子がありました。

会場に到着し別れの際、八重樫さんが「チョコちゃんに元氣貫つて勉強頑張つてね」と言ったことに対して、子ども達は「元氣貫わなくてもいい。逆に私達がチョコちゃんに元氣をあげるんだ」と答えていました。

八重樫さんは4年前まで保育園で給食を作る仕事をしていました。ゆえに、わんわんパトロールで見守っている子ども達は教え子にあたります。八重樫さんは「この活動していて一番感じることは子ども達の成長。日が経つにつれて言葉遣いが変わつてくる。昔面倒を見ていた子ども達に声をかけてもらえると嬉しい」と話してくれました。

日常の活動に注目し、地域で大切にされる。また、ちょっとした工夫をするだけで、地域に根付いた無理なくできる支え合い活動になっていきたいと思います。

日常の中には気が付かないだけで、たくさんの方の支え合い活動が存在します。みなさんも日常を思い返してみてください。たくさんの方の支え合いがあるはずですよ。



健康
づくり

居場所
づくり

仲間
づくり

生きがい
づくり

生活支援体制整備事業

お互いさま ひろお通信

「地域づくりから育つひろおの支え合い」

第18号 2021年3月

コロナに負けない！サロン活動のご紹介！！

新型コロナウイルスの影響により出かけるところがなく家でテレビを見て過ごしているという声を耳にします。

その中でも、町内全部のサロンが活動できているわけではありませんが、活動を再開しているサロンがいくつも存在します。みなさんコロナ禍の中で感染対策に十分配慮しつつ、楽しく活動ができるよう各サロンのボランティアさんが試行錯誤しながら開催しています。

コロナ禍において人との繋がり大切さに改めて気づき、また、みなさんも同じように感じていることがあるのではないのでしょうか？

町の広報お出かけカレンダーにサロン開催状況が掲載されています（一部を除く）。また、参加の際は以下の点にご協力をお願いします。

- ▶ マスクの着用
- ▶ 会場到着時と帰宅時の手指消毒
- ▶ 体温が37.5度以上、又は体調のすぐれない方は参加をお控えください

サロン活動はどなたにでも楽しめる場所となっています。事前の連絡は不要です。ぜひ、ご参加ください。お問い合わせは社会福祉協議会までお願いします。



なごやかサロン
※老人福祉センターで開催しています



ふまねっとサロン
※ふまねっとに関するお問い合わせは社会福祉協議会へ連絡下さい。

サロン活動 始めませんか？

社会福祉協議会では新規のサロンの立ち上げ支援やその後も主体的に活動できるように継続して支援を行っています。

また、サロン活動に興味はあるけど場所に困っているという方はいませんか？社会福祉協議会にはサロンの会場として利用してもよいよという声が届いています。会場などの理由で諦めている方がいればご相談ください。

町内のサロン活動は高齢者中心のものが主となっています。今後は世代を問わない新たなつながり作りとして町民の集いの場を作っていきたいと考えています。

活動を始めたいという方や話を聞いてみたいという方はお気軽に社会福祉協議会にご連絡ください。



生活支援体制整備事業
お互いさま ひろお通信
「地域づくりから育つひろおの支え合い」
第19号 2021年4月

宅配便利帳 配布のお知らせ

町内で食料品や日用品、電化製品や灯油を扱っており、かつ宅配をしているお店の一覧をまとめた宅配便利帳を作成しました。

免許の返納など移動手段がなく、買い物に困っている方の生活の支えになってほしいという願いを込めています。

社協だよりと一緒に宅配便利帳を配布しています。ぜひ、ご覧いただき活用ください。また、宅配便利帳を活用するためのサポートも行いますので、使い方が分からない方はお気軽にお問合せください。

周りの方でお買い物に困っている方はいませんか？
ぜひ、宅配便利帳をお勧めください！



地域の宝物を取材しています

日常で行っている活動や繋がりを
「地域の宝物」と呼び
たくさんの人と共有することで
地域の支え合い活動（社会資源）として
位置づけることになり
地域づくりの原動力にもなります



今回の社協だより5ページにも掲載している通り、みなさんの日常にお邪魔し、取材活動をしています。

地域の宝物は見守りや生きがい、居場所になっていることがあり、とても貴重なものです。

ぜひ、「私たちはこんな活動しているよ」という声をお待ちしております。



ぜひ取材に行かせてください！

お互いさまひろお通信のバックナンバーはホームページでも公開しています。
ホームページアドレス <https://www.shakyo.or.jp/hp/162/>

高齢者勤労事業部からお知らせ

私たちと一緒に働きませんか??

例えばこんな仕事があります!!



基本は2人以上で動くから安心！仲間と気持ちの良い汗を流しませんか??

会員登録するのに必要な資格はありません！これを機に新しいことに挑戦しませんか??

若かりし頃に培った技能を發揮しませんか??

就労会員 大募集!!

就労登録できる方

60歳以上の方で働く意欲のある方なら誰でも大歓迎!!

推進員直通電話が出来ました

推進員 広瀬孝光

携帯 090-2074-2519

受付時間 平日 9:00~17:00

※作業中及び土日祝日はつながりません

就労登録に必要なもの

・年会費 2,000円

・健康診断書

※健康診断にかかる経費のうち半額を助成いたします(最大2,500円)

・初めて登録する方は2-4110まで連絡して下さい。

まずは社会福祉協議会(2-4110)にお問い合わせください

赤い羽根共同募金結果報告

～共同募金へのご協力をいただき、大変ありがとうございました～

令和3年2月28日現在

令和2年度の赤い羽根募金運動は、町民の皆様のご理解とご協力に支えられ、1,887,757円の募金が集まりました。募金実績及び令和3年度の助成額が決定致しましたので次の通りご報告致します。

(募金期間：10月1日～11月30日)

募金実績 1,887,757円

(前年比 -18,808円↓)

募金内訳：戸別募金 872,551円、街頭募金 158,206円、大口募金 857,000円

- ・社会福祉協議会事業費助成 1,326,757円
(ボランティアの育成、町民や高齢者を対象とした事業 など)
- ・共同募金委員会運営費補助 243,000円
(募金封筒作成費、PR広報費、募金資材代、地方共募維持管理費 など)
- ・全道的な助成 318,000円
(道内の福祉施設整備事業、福祉車両購入事業、社会貢献活動 など)

皆様から寄せられた募金は左記の通り使われています。



※人件費や謝礼・報酬等には使用されていません。
全額地域の社会福祉向上の為に使用されています。

共同募金に関してもっと詳しく知りたい方は下記ホームページをご利用ください。

- ☆ 共同募金会 <http://www.akaihane.or.jp>
- ☆ 北海道共同募金会 <http://www.akaihane-hokkaido.jp>
- ☆ 赤い羽根データベース「はねっと」 <http://hanett.akaihane.or.jp/hanett/pub/home.do>



歳末たすけあい募金



(募金期間：12月1日～15日)

皆様からお寄せいただきました歳末たすけあい募金は、昨年12月22日に配分委員会が開催され、12月24日に共同募金委員会辻田廣行会長、社会福祉協議会軍司勝裕会長、他役職員にて配分が決定した各世帯へ皆様の善意としてお届け致しました。

○歳末たすけあい募金の結果は下記の通りとなりましたので、ご報告致します。

△▽△歳末たすけあい募金実績△▽△

収入	本年度募金実績	935,655円
	前年度繰越金	712,200円
	合計金額	1,647,855円
支出	募金経費	48,344円
	配分決定額	650,000円
	合計金額	698,344円
	翌年度繰越金	949,511円

□配分内訳□

- ・町内要保護世帯 31世帯 650,000円
(生活保護受給世帯を除く)

※歳末配分委員会で検討した結果、上記の通り配分を行っています。



あたたかい善意ありがとうございます

社会福祉協議会ボランティアセンターへ

(令和2年9月1日より令和3年2月28日受付分まで)

《物品預託》

- ・匿名 囲碁セット
タオル多数
- ・中村京子 様 古布多数
- ・匿名 古布多数
- ・匿名 せっけん多数
- 肌着多数
- 古布多数
- ・こぶしヶ丘女性部 様 不織布マスク1,000枚
消毒液 3本

(右に続く)

《物品預託》

- ・匿名 浴衣
布団カバー多数
 - ・山崎隆司 様 オムツ多数
尿取りパット多数
- (以上 デイサービスセンターへ)

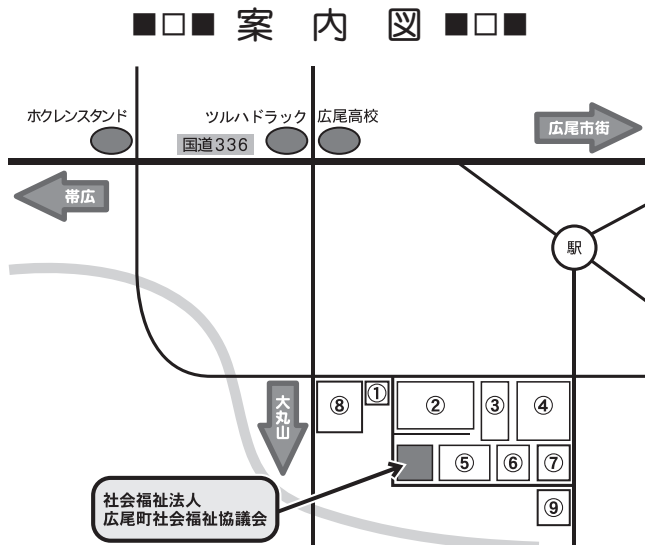
《団体指定寄附》

- ・田村智子 様 100,000円
- (以上 身障広尾町分会へ)

《あなたの善意を地域の社会福祉のために》

広尾町社会福祉協議会では、皆様の善意により幅広い福祉活動に取り組んでおります。お寄せいただく寄附金は、身近な福祉に役立てられます。**結婚・出産・全快祝い・会社の創立記念・喜寿・米寿等のお祝い・並びに葬儀等の香典返し**にかえて社会福祉のために是非ご協力ください。

※ご寄附は所得控除の対象となります。ご協力いただける方は、社会福祉協議会までご連絡ください。



1. サンタ薬局
2. 広尾町国保病院
3. 広尾町健康管理センター
4. 広尾町老人ホーム「かもめ」
5. 広尾町特別養護老人ホーム「つつじ苑」
6. 広尾町生活支援ハウス「なごみ」
7. (旧) 広尾丸山保育所
8. 帯広保健所広尾支所
9. ゆうゆう舎

社会福祉法人 広尾町社会福祉協議会

〒089-2622

北海道広尾郡広尾町公園通南4丁目1

デイサービスセンターひろお内

TEL 01558-2-4110

FAX 01558-2-4258

E-mail webadmin@hiroo-shakyo.jp

HP <https://www.shakyo.or.jp/hp/162/>

Facebook <https://www.facebook.com/hiroosyakyou/>

LINE 公式LINEが出来ました

デイサービスセンターひろお (通所介護)

TEL (01558) 9-0666

ケアプランセンターひろお (居宅介護)

TEL (01558) 9-0700

ホームヘルプセンターひろお (訪問介護)

TEL (01558) 2-4110

町受託運営施設

広尾町高齢者生活支援ハウス「なごみ」

〒089-2622

北海道広尾郡広尾町公園通南4丁目5

TEL (01558) 2-0753



この社協だよりは共同募金配分金の一部が使われています。